

第19回釜ヶ崎講座講演の集い

「西成特区構想」とはいかなるものか! 第2弾

～「西成特区構想」を活用して何が実現できるのか。

釜ヶ崎の何が変えられるのか～

—有識者座談会提案項目の具体化にむけた現状報告と討論—

「西成特区構想」が出されて1年以上が経過した今日、多くの労働者、住民の生活の根本にかかわる、諸問題が明らかになってきました。2013年度の予算づけも一部では始められ、有識者座談会提案項目を受けての地元町内、住民側からの要望提案（8分野・56項目・5年間プロジェクト）も出されて、具体的な動きとなりつつあります。

釜ヶ崎講座はさる2012年12月8日「第18回釜ヶ崎講座講演の集い」にて「西成特区構想」で釜ヶ崎の労働者、住民の命と暮らしは守れるのか、という基調で主として医療・福祉問題をとりあげて学習・討論の場を設けました。今回は、“「西成特区構想」とはいかなるものか! 第2弾”と銘打って、主に「有識者座談会提案項目」の具体化に向けた現状報告をしていただく中で、釜ヶ崎住民の真の要望とは何なのか、その具体的実現の中身とは、という学習・討論を企画しました。今回、講師には、ありむら潜さん（有識者委員、「釜ヶ崎のまち再生フォーラム」事務局長）、寺川政司さん（有識者委員、CASE まちづくり研究所代表）、西口宗宏さん（萩之茶屋振興連合町会第6町会会長、サポーターズハウス「おはな」オーナー）のお3人をお願いすることができ、現場からのホットな報告、問題提起と議論を展開していただけると考えます。そして皆さんと共に学習を深めていきたいと思っております。御参加をお待ちしております。

日時 2013年4月13日（土）pm6時30分開演

講師 ありむら潜さん（西成特区構想有識者座談会委員・「釜ヶ崎のまち再生フォーラム」事務局長）

寺川政司さん（西成特区構想有識者座談会委員・近畿大学建築学科准教授・CASE まちづくり研究所代表）

西口宗宏さん（萩之茶屋振興連合町会第6町会会長・サポーターズハウスおはなオーナー）

会場 エル・おおさか南館（10F） 101号室

京阪・地下鉄谷町線「天満橋駅」より西へ300m、「北浜駅」より500m

資料代 500円